

# 耳公民館だより



第78号 令和8年2月



(雪山で遊ぶ子どもたち:中央小)

今年は美浜町も久しぶりの大雪にみまわれ、となりの敦賀市が全国ニュースに連日のように取り上げられました。車社会の現代では、マイカーが家から出られるように除雪しないと仕事にも買い物にも行けません。春には姿かたちがなくなっている雪にほっこりしました。

子どもたちは除雪でできた雪山にのぼって、いつもとちがう景色を楽しんだことでしょう。

## 小学生図画作品展

中央小学校1～6年生の作品、45点を展示しています。カラー版画、紙版画、木版画、水彩画など楽しくご覧いただけます。



## 「控えにまわった写真たち」展

公民館だよりに載せなかった耳地区の風景写真15点も展示しています。お気軽にお立ち寄りください。

## 親子切り紙講座 2/7(土)



雪の結晶



桜の花びら

## 放課後子ども教室(第7回) 指編み



今回は社協の職員さんから毛糸の指編みを教えていただきました。

何ができるのかな？  
長いのもありますね。



## 立ち寄り型講座「ふらっと」ニュース

### ⑪ 毛糸でつくるポンポンアクセサリ

新メニューは、毛糸のポンポンです。形はすぐできますが、あとは目玉シールや紙を使って、アイデアしだいですてきなアクセサリに。30分もあれば1つできあがります。



### 館長のつぶやき

着々とつくられていきます。

美浜町誌のような書物も編むといえます。美浜町に生きた人々の営みが綴られていて、町史はこれからも長く続いています。耳公民館の歴史も、耳地区に暮らす皆さんによって

ついでいきます。一本一本は短くて弱くても、より合わせることで長く強く生きていきます。

今回の放課後子ども教室では、毛糸を指で編むという体験でしたが、ずいぶんと長いものにも挑戦していますね。長いものを編むというと、以前に紹介した弥美神社の大しめ縄も何人もが協力して完成させる編み物と言えなくもないです。

が始まりました。今日本には羊がいなかったこともあり、衣類は編み物より織物を中心でした。江戸時代直前になってポルトガル人やスペイン人が手編みの手袋や靴下を日本にもたらしたという歴史があります。そして明治時代になって女学校で編み物の授業

が始められました。日本には羊がいなかったこともあり、衣類は編み物より織物を中心でした。江戸時代直前になってポルトガル人やスペイン人が手編みの手袋や靴下を日本にもたらしたという歴史があります。そして明治時代になって女学校で編み物の授業

が始められました。日本には羊がいなかったこともあり、衣類は編み物より織物を中心でした。江戸時代直前になってポルトガル人やスペイン人が手編みの手袋や靴下を日本にもたらしたという歴史があります。そして明治時代になって女学校で編み物の授業

が始められました。日本には羊がいなかったこともあり、衣類は編み物より織物を中心でした。江戸時代直前になってポルトガル人やスペイン人が手編みの手袋や靴下を日本にもたらしたという歴史があります。そして明治時代になって女学校で編み物の授業

が始められました。日本には羊がいなかったこともあり、衣類は編み物より織物を中心でした。江戸時代直前になってポルトガル人やスペイン人が手編みの手袋や靴下を日本にもたらしたという歴史があります。そして明治時代になって女学校で編み物の授業

編む